

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2011年7月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

会報

第15回日本太鼓チャリティコンサートを開催 ～東日本大震災復興支援～



(フィナーレ)

5月27日(金)、日本太鼓チャリティコンサートを草月ホール(東京都港区)で開催いたしました。

このコンサートは日本財団の助成事業として行われ、今回は3月11日に発生した東日本大震災で被害を受けた東北地方の太鼓関係者を支援することを目的に開催いたしました。

この震災では、岩手、宮城、福島県の3県が特に大きな被害を受けました。家屋の流失や損壊、未だに行方のわからない方も多く、10名の鼓友が犠牲となりました。

当日は各国の在日大使、政・官・財界及び各分野で活躍されている方をはじめ、約300名の方々にご出席いただきました。

開演に先立ち、主催者を代表して塩見和子理事長の挨拶の後、当財団加盟800団体から選ばれた6団体に加え、昨年11月に開催された「第7回日本太鼓シニアコンクール」で名人位を獲得した河合睦夫さんと本年3月に開催を予定していた「第13回日本太鼓ジュニアコンクール」に岩手県代表として出場予定だった被災地の「大船渡東高等学校」の合計8団体による演奏が行われました。

まず、トップの満願寺・堀川宥玄住職(長野)は2年前に小口大八先生への追悼を込めて演奏されたのに続き2度目の出演です。般若心経を唱えながらの太鼓演奏で、犠牲となられた皆様の霊を慰められました。

「豊潤流ほのぼの太鼓」(千葉)は大太鼓を中心にした演奏で客席を圧倒していました。「加茂綱村太鼓」

(宮城)は、笛のデュエットから始まり太鼓と一体になった仙台に伝わる雀踊りが印象的でした。「岩手県立大船渡東高等学校太鼓部」(岩手)は岩手県の沿岸部にあり、震災の後しばらく練習も出来ず、東京への移動も心配されましたが部員の皆さんが頑張る姿は、観客の皆さんに感銘を与えたようです。

「龍神太鼓保存会」(青森)は津軽三味線と太鼓による共演です。北国の雰囲気東京に運んで下さいました。次に「日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝いた「越中いさみ太鼓保存会」(富山)の河合睦夫さんの演奏です。太鼓を長年打ち続けた方だけが持つ、円熟味のある太鼓を披露しました。続いては「彌栄太鼓保存会」(石川)です。石川県の能登地方に伝わる、お面を被って一つの太鼓を交互に打つ太鼓です。おどろおどろしい雰囲気を表現されていました。最後は、地元東京の「和太鼓大元組」(東京)です。大太鼓を中心に江戸前の太鼓で締めさせていただきました。

フィナーレは、出演者全員が舞台上がり、塩見理事長の音頭でお客様とともに恒例の手締めで閉演となりました。

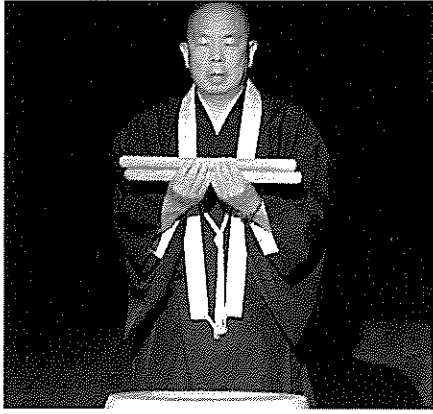
コンサート終了後には、帰路に着くお客様のために全団体が通路に並びました。そして、会場出口で大船渡東高校が演奏する陸前高田に伝わる「けんか七夕太鼓」のリズムでお見送りしました。観客の皆様は、太鼓に元気をもらったと喜んでおられました。

皆様のご協力により、1,110,000円の募金が集まり、全額を「東日本大震災」で被災した東北の太鼓関係者への支援活動に役立てたいと思います。

ご来場頂いた皆様並びに出演者の方々に心より感謝申し上げます。

<出演団体>

1. 満願寺・堀川宥玄(長野)
2. 豊潤流ほのぼの太鼓(千葉)
3. 加茂綱村太鼓(宮城)
4. 岩手県立大船渡東高等学校太鼓部(岩手)
5. 龍神太鼓保存会(青森)
6. 河合睦夫・越中いさみ太鼓保存会(富山)
*第7回シニアコンクール名人位
7. 彌栄太鼓保存会(石川)
8. 和太鼓大元組(東京)



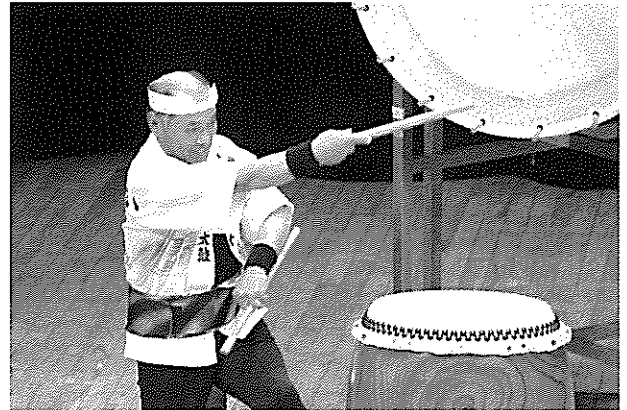
(満願寺・堀川宥玄・長野)



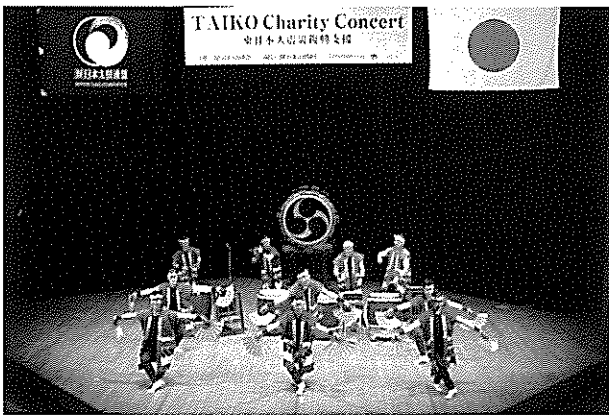
(龍神太鼓保存会・青森)



(豊潤流ほのぼの太鼓・千葉)



(シニア名人・越中いさみ太鼓保存会・河合睦夫・富山)



(加茂綱村太鼓・宮城)



(彌栄太鼓保存会・石川)



(岩手県立大船渡東高等学校太鼓部・岩手)



(和太鼓大元組・東京)

東日本大震災 支援金一覧

これまでご協力頂いた支援金の状況をお知らせし、ご協力に感謝します。
 総額 9,627,645円(7/14現在)

▼北海道道央支部

北海道道央支部
 厚別本陣はまなす太鼓
 江別見晴台鼓楽会豊太鼓
 追分いぶき太鼓
 札幌新琴似太鼓保存会
 新発寒ふるさと太鼓
 澄川太陽太鼓
 橋本流地獄太鼓和太鼓會
 藤野太鼓
 山口太鼓流北海若衆太鼓
 のぞみ太鼓

▼北海道道東支部

北海道道東支部
 北海道くしろ蝦夷太鼓保存会
 寿子ども蝦夷太鼓同好会
 厚床獅子舞保存会
 北見オホーツク太鼓青虎天真
 釧路太平洋太鼓保存会
 しべつとどわら太鼓保存会
 ねむろ太鼓保存会
 浜中町郷土芸能きりたつぷ浜太鼓
 羅白町郷土芸能知床いぶき樽保存会

▼北海道道西支部

北海道道西支部
 赤平火太鼓保存会
 艶美火舞羅
 栗沢太鼓同志会
 太鼓衆 多仲や 一門
 豊幌太鼓勇士会
 長沼百年太鼓保存会
 美楽田
 北竜太鼓
 ほろむい太鼓愛好会
 南町わらべ太鼓
 躍進滝川太鼓保存会
 夕張太鼓保存会「竜花」
 茜太鼓 鼓だぬき

▼北海道道南支部

室蘭太鼓衆風鼓
 室蘭和太鼓會
 ▼青森県支部
 八甲田太鼓愛好会
 鳥城(うじょう)こみせ太鼓
 鶴田町太鼓の会
 津軽情っ張り太鼓
 みよこ太鼓
 山内健逸(みちのく中世太鼓)
 津軽深浦北前太鼓風の会
 名久井農業高校
 荘司康平

▼秋田県支部

秋田県支部
 合川太鼓保存会
 飛鳥太鼓
 井川桜欄太鼓創作会
 いずみ太鼓の会
 彌高太鼓の会
 櫻林御鷹太鼓
 大内太鼓
 大館曲げわっぱ太鼓
 大曲太鼓道場

大森太鼓愛好会
 男鹿みなと太鼓
 金沢八幡太鼓保存会
 唐松太鼓保存会
 刈和野大綱太鼓
 河辺太鼓保存会
 象潟九十九島太鼓
 郷土芸能 錦木鬼太鼓保存会
 莒蒲太鼓保存会
 消防太鼓隊
 仙北太鼓
 大雄太鼓愛好会
 鷹巣ばやし普及会
 高山太鼓白神会
 田代太鼓振興会
 鳥海前の沢太鼓保存会
 成瀬仙人太鼓
 仁賀保太鼓伝承会
 能恵姫竜神太鼓
 能代べらぼう太鼓
 羽川剣ばやし保存会 筑峰太鼓の会
 東今泉八幡太鼓
 日住太鼓
 峰神太鼓
 祭鼓連
 御嶽清流太鼓保存会
 やまばと太鼓
 雄和太鼓保存会
 湯沢南家佐竹太鼓
 横手かまくら太鼓
 蘭導
 龍勢会
 ▼山形県支部
 太鼓道場風の会
 尾花沢花笠太鼓
 龍・連山と和太鼓「龍」
 十坂太鼓保存会
 ▼栃木県支部
 栃木県支部 役員一同
 ▼群馬県支部
 群馬県支部
 尾瀬太鼓愛好会
 かやのみ太鼓
 神流川台戦太鼓新町のぶ会
 絆太鼓
 上州あずま太鼓
 上州大胡風神太鼓保存会
 上州榛東ふるさと太鼓会
 上州藤岡上杉管領太鼓
 上州吉井太鼓
 どどんこ島太鼓
 ひごろも太鼓
 まむれ太鼓
 ▼埼玉県支部
 埼玉県支部
 伊奈町綾瀬太鼓
 小川町仙元太鼓保存会
 小前田上町屋台囃子保存会
 川口南龍太鼓
 川口初午太鼓保存会連絡協議会
 川越ふじ太鼓
 郷芸銀美露(ぎんごう・びろばあ)
 熊谷陣屋太鼓保存会
 乾武神流川太鼓
 越谷太鼓社中
 駒王太鼓愛好会

魁太鼓集団
 重忠太鼓保存会
 高野右吉と秩父社中
 玉川陣屋太鼓
 秩父屋台囃子若葉会
 天馬太鼓
 武蔵あばれ太鼓
 武蔵流龍神太鼓
 寄居中町神田囃子保存会
 和太鼓龍虎流宗家 龍虎太鼓

▼千葉県支部

千葉県支部
 我孫子・和太鼓龍翔
 印旛龍鳳太鼓
 浦安太鼓潮輝連
 大塚太鼓かずら会
 関東ひびき太鼓
 九十九里黒潮太鼓
 作新漣太鼓
 桜鼓会
 佐倉太鼓衆 櫻太鼓
 下總之國津久太鼓
 城北流艶太鼓
 粹童会 龍星太鼓
 太鼓衆 楽
 千種太鼓

銚子はね太鼓保存会
 千代田和太鼓
 成田不動太鼓
 のさか太鼓
 花見川鼓連
 飛翔しぶき太鼓

総浜太鼓
 船橋芝六太鼓
 豊潤流ほのぼの太鼓
 茂原太鼓
 四街道太鼓みかさ会
 和太鼓 風
 和太鼓金龍組
 和太鼓衆 雷夢
 和太鼓琉翔

▼東京都支部

東京都支部
 江戸里神楽
 荏原流れ太鼓ひびき會
 大江戸叻六太鼓
 葛飾諏訪太鼓
 河乃裕季と和太鼓飛翔
 真如太鼓
 助六太鼓保存会
 太鼓集団「天邪鬼」
 八丈太鼓六人會
 武州粋鼓会
 邦楽アカデミー
 みやらび太鼓研究会
 向島遊神太鼓
 武蔵国府太鼓「響会」
 養沢和太鼓会
 和太鼓 邪無音
 和太鼓 花風雅
 関東やまと太鼓
 太鼓集団 大地
 和太鼓 忍～SHINOBI～
 ▼神奈川県支部
 神奈川県支部
 鼓粋

相模龍王太鼓保存会
湘南和太鼓 絆
星槿国際高等学校太鼓部響
相州海老名東柏太鼓
打鼓音
秦野市観光和太鼓
響太鼓
▼新潟県支部
飛燕太鼓振興会
分水太鼓
▼富山県支部
富山県支部
越中いさみ太鼓保存会
越中井波八乙女風神太鼓
越中大島太鼓振興会
越中源氏太鼓保存会
北野天満宮越中式年太鼓保存会
源多良太鼓保存会
常願太鼓保存会
水舞流越中八幡太鼓保存会
天正いなほ太鼓保存会
氷見有磯太鼓保存会
福光もちつき太鼓保存会
▼石川県支部
石川県支部
輪島・和太鼓虎之介
ゆずり葉
風楽
加能の響会
能登黒島天領太鼓保存会
友禅華太鼓
MAX3
城山太鼓保存会
彌栄太鼓保存会
手取元龍太鼓保存会
住吉神社御神事太鼓保存会
炎太鼓
金沢百萬石太鼓
出城虫送り太鼓保存会
大場潟乃太鼓
九谷太鼓保存会
若原明神太鼓
鹿島天平太鼓保存会
志賀疾風太鼓保存会
七尾豊年太鼓保存会
富木神幸太鼓
笠間弓堀太鼓
御陣乗太鼓保存会
能登國穴水長谷部太鼓保存会
もっくり太鼓
共栄太鼓風雅
辰巳こんころ太鼓保存会
小松原太鼓
のと半島鹿波獅子太鼓
壺中天
石川ろう劇団「結」
チビツ子九谷太鼓
富樫太鼓
和太鼓グループ 藍
以下、石川会員外
大場潟乃太鼓シニア本末組
大場潟乃太鼓若鮎会
潟乃流緋鮎太鼓
ねあがり太鼓 響
西太鼓保存会
鼓月
翔
中庄虫送り太鼓保存会
和太鼓大地
東浅川ゆず太鼓
土田太鼓子供クラブ
富木八幡太鼓

塩津かがり火太鼓
いでゆ太鼓保存会
志賀疾風 志童
向田雨乞い太鼓保存会
志賀天友太鼓
羽州太鼓
志賀豊年力太鼓保存会
石川県立ろう学校風神太鼓
葵海童
白嶺太鼓
輪島高洲太鼓
一宮不動太鼓保存会
木越 治、北村吉則、辰巳 彌、
重田哲郎、高野靖博、寺西辰夫、
隅谷三郎、米田直樹、向 正春、
得能力知、宝達正和、西村 繁、
池田喜代治、田中秀夫
▼福井県支部
福井県支部
朝六つ子供太鼓
越前国中ごぼう太鼓保存会
越前権兵衛太鼓保存会
越前岬太鼓
大飯プレイズ
勝山左義長ばやし保存会
氣比太鼓保存会
名田庄太鼓保存会勇粋連
紫式部太鼓保存会
ハツ杉権現太鼓
▼山梨県支部
山梨県支部
東富士七里太鼓保存会
雨鳴太鼓保存会
甲斐いちのみや桃源太鼓
甲斐之國上野原三頭太鼓
甲斐之國御坂天雷太鼓保存会
甲斐和太鼓衆信玄太鼓保存会
鯨沢ばやし保存会
甲州遠光太鼓保存会
甲州ろうあ太鼓
甲府市指定無形文化財甲府囃子保存会
甲府市指定無形文化財甲府ばやし寿量会
須玉甲斐源氏太鼓保存会
大菩薩御光太鼓保存会
富沢郷白鳥太鼓保存会
なるさわ富士白龍太鼓愛好会
J A A太鼓アカデミー
風林火山塩山太鼓保存会
古関観音太鼓 若蓮
まほらの郷鷹座果小林八幡太鼓
南アルプス白鳳太鼓保存会
山梨園芸高等学校すいれき太鼓部
谷村ばやし保存会
印の里 六郷太鼓 響
▼長野県支部
長野県支部
信州裾花彩鳥太鼓
馬籠黎明太鼓保存会馬籠衆
信州安曇野穂高太鼓
小布施北斎太鼓
足長剛勇太鼓
あづみの鼓友会
諏訪響太鼓連
青木村義民太鼓保存会
鈴岡太鼓
御諏訪太鼓保存会
源流美麻太鼓
真田勝岡太鼓保存会
信濃国松川響岳太鼓
信州辰野太鼓
大浅間火煙太鼓保存会
千曲川坂城陣太鼓

日本アルプス白馬八方太鼓保存会
聖太鼓保存会
北斎太鼓運営協議会
三郷太鼓協議会
みのわ太鼓保存会
夢太鼓
以下、長野会員外
佐久ろうあ太鼓
信州安曇野あすなる太鼓
信州塩田平 和願太鼓
▼岐阜県支部
岐阜県支部
岐阜県支部 事務局
安岐太鼓
天邪鬼流 和太鼓 麗彩
いび川おぼば太鼓保存会
うずら太鼓
恵那のまつり太鼓
大垣築城太鼓
表佐太鼓踊り保存会
各務原和太鼓愛好会
可児市宮太鼓保存会
加納ふるさと太鼓保存会
上石津もんでこ太鼓保存会
岐阜市鶴飼太鼓保存会
岐阜神代響太鼓
ぎふ舞鼓
岐阜勇爽太鼓
郡上宝暦義民太鼓保存会
しらみず太鼓
磨墨太鼓保存会
高鷲太鼓保存会
童心・飛騨高山太鼓団
中津川太鼓保存会
中山太鼓保存会
日本太鼓集団鼓雷響プロジェクト
羽島子ども太鼓クラブ
羽島太鼓 大賀
羽流太鼓
ファミリーユニット童鼓
穂積太鼓保存会
美並太鼓保存会
美濃小倉太鼓
美濃乃国水郷太鼓保存会
美濃の国羽島太鼓
美濃もとす太鼓保存会
養老象鼻山太鼓の会
▼静岡県支部
田子海太鼓
静岡ハンディキャップの会
鮎美太鼓
大東ふるさと太鼓
遠州袋井太鼓保存会
金谷川越し太鼓
遠州天竜太鼓
富岳太鼓 代表山内強嗣
焼津 松風閣「羽駒」
いずみ太鼓 花房克己
鮎壺太鼓保存会
金谷大井川越し太鼓浜松チャレンジチーム
赤石太鼓保存会
天城連峰太鼓
▼愛知県支部
愛知県清州町伝統太鼓
一宮太鼓保存会
三河神明太鼓
尾張新次郎太鼓
願成観音太鼓保存会
三河神富太鼓
鯨流太鼓
▼三重県支部
鈴鹿太鼓保存会

美杉連山のろし太鼓保存会
さだひこ太鼓
業平夢太鼓
飛龍東員太鼓
四日市諏訪太鼓 龍雅
山本喜己(三重)
▼京都府支部
京都府支部
大和の響き・京
無宇
和太鼓「剣」
HANABI
和太鼓サークルどこんこ
チーム感動
産霊奉納太鼓保存会
和太鼓サークルホテル
京都・龍船和太鼓
以下、京都会員外
さくら
▼大阪府支部
るんびに太鼓
和太鼓鼓絆
▼奈良県支部
奈良県支部
生駒山麓太鼓保存会
御所太鼓 耀-KAGAYAKI-
総合芸術集団TERPSICHOIRE
奈良朱雀高等学校和太鼓秋篠
初瀬太鼓 麟角舎
まほろば太鼓団 魁会
やまと獅子太鼓
楽鼓の会
和太鼓 鼓城
田原本 楼閣太鼓
▼兵庫県支部
兵庫県支部
兵庫県太鼓連盟
伊丹太鼓の会
神戸太鼓保存会
豊岡こうのとり太鼓
播州新宮越部太鼓
別所ともえ太鼓会
北摂太鼓
南あわじ太鼓衆 莖
▼広島県支部
広島県支部
宇品みなと太鼓
大竹一番太鼓
鬼神太鼓
君田太鼓
口和備神太鼓
ひばん婆太鼓
広島山陽高校音楽部山陽太鼓「弾」
▼徳島県支部
鳴島鳳翔太鼓振興会
羽ノ浦保武士太鼓グループ
▼香川県支部
香川県支部
大野原龍王太鼓保存振興会
響屋
鴨川福神太鼓保存会
女流和太鼓響音
善通寺龍神太鼓
仁尾竜翔太鼓保存会
▼島根県支部
島根県支部
つわの太鼓
神戸川太鼓
八久呂太鼓保存会
島根県三刀屋太鼓
石見銀山天領太鼓
さだ須佐太鼓

石州浜田太鼓
石見あらがね太鼓
掛谷太鼓保存会
落部 勝司
▼全九州太鼓連合
▼福岡県支部
福岡県支部
小倉祇園太鼓田町チーム
鼓舞志
御良八幡太鼓育成会
下関平家太鼓保存会 勝山会
神洲太鼓
竹下太鼓振興会
野武士
久山櫓太鼓
飛龍八幡太鼓奉友会
風浪勝運太鼓
金丸和太鼓の会かなまる太鼓クラブ
▼佐賀県支部
佐賀県支部
有田大野太鼓保存会
小城太鼓
唐津港太鼓
赤熊太鼓保存会
不知火太鼓
葉隠太鼓保存会
聖太鼓の会
大和太鼓保存会
和太鼓「葉隠」
福富太鼓保存会
和太鼓 禪
▼長崎県支部
長崎県支部
諫早天満太鼓
諫早肥前太鼓
おおむら太鼓連くじら太鼓
佐世保御団地太鼓錬成会
鹿町やまと太鼓の会
鹿山太鼓育成会鹿山雷神太鼓
▼熊本県支部
熊本県支部
嵐口春日太鼓保存会
菊池雲上太鼓保存会
菊陽武蔵剣豪太鼓
熊本市立必由館高校和太鼓部
西海荒波太鼓の会
蛇紅太鼓
城南火の君太鼓
不知火竜燈太鼓保存会
岱明子供太鼓
高森風鎮太鼓保存会
人吉ねぶか太鼓
三角龍驤太鼓
山鹿太鼓保存会
玉名太鼓振興会
▼大分県支部
大分県支部
院内童龍太鼓
院内龍神太鼓
大分県糸口学園
源流はさま太鼓
鼓風舎
ZENKAI太鼓「和」
天神太鼓
豊の国ゆふいん源流太鼓
豊前乃國本耶馬溪禪海太鼓
豊後みさき太鼓
▼宮崎県支部
宮崎県支部
雲海木挽太鼓
えびの童夢太鼓
大淀紫雲太鼓

おかげ祭り振興会
伏肥弥五郎和太鼓集団鼓禮
清武ジュニア太鼓
清武町若武会雷龍太鼓
串間くるみ太鼓
串間太鼓・神童
くにとみ天領太鼓
五ヶ瀬太鼓保存会 流鼓
古郷太鼓 扇一座
心響鼓DON
太鼓研修センター 響
高原町神武太鼓保存会
橘太鼓「響座」
都農青年太鼓
翼太鼓 凜和
日向太鼓 天地鼓響
轟太鼓一座
華太鼓かんなの会
南洲太鼓保存会
日南太鼓衆「爽空」
日南和太鼓雷鼓
はまご太鼓
日向の国「響」
日向十五夜太鼓
平家大いちょう太鼓
舞鶴一座 秋月鼓童
龍潮太鼓「鼓衆」
ロック太鼓
和太鼓 漲
和太鼓一家 颯
和太鼓道場 巴塾
▼鹿児島県支部
鹿児島県支部
阿久根太鼓響流
有明魁伝太鼓
うちのうら銀河太鼓
開聞太鼓保存会(開聞龍宮太鼓)
巨神伝説太鼓衆大隅弥五郎太鼓
金峰権現太鼓
桜島火の島太鼓保存会
薩摩川内おどり太鼓
末吉鬼神太鼓
高尾野兵六太鼓保存会
たるみず飛龍太鼓保存会
知覧武双太鼓
天空太鼓
天孫降臨霧島九面太鼓保存会
日本太鼓ひびきの会
野田郷島津太鼓
枕崎火の神太鼓保存会
山川ツマベニ太鼓
和太鼓 雷塾
和太鼓集団 和楽
和太鼓集団 魂
志布志ちりめん太鼓
＜特別会員＞
真駒内檜一番太鼓会(北海道)
越前寿太鼓(福井)
吉敷鳳翔太鼓保存会(山口)
鐘山苑靈峰太鼓(山梨)
名護桜太鼓(沖縄)
＜賛助会員＞
諏訪響太鼓店
浅野太鼓楽器店
鈴木太鼓店
＜その他＞
日本太鼓チャリティコンサート 支援金
台湾太鼓協会
ブラジルオザスコ轟太鼓
ツクダ マユミ
須磨久善・富美把
島津久永(財団理事)

被災地で響く太鼓の音！ 東日本大震災復興イベント

「立ち上がれ宮城！響け明日の宮城へ！復興祭」
宮城県支部副会長・石巻日高見太鼓会長 今野 鏡子

石巻市の日和山にたどり着いたのは3月11日から3日過ぎた14日の午後でした。

震災時に雄勝町にいた私は車の中で3昼夜過ごしました。寒い…それでも石巻に帰る分の油は残しておく為にエンジンは切ったまま。幸い毛布があったので生還出来ました。

石巻にはいつて車では進めず途中に置いて徒歩で冠水した道を歩く…。家族が無事でいてくれた事に感謝しました。ひと安心ついた。その足で日和山に登りました。生まれ育った「石巻」、私が記憶している町は、そこにはありませんでした。

建物はみな廃墟と化し、中央の商店街には大きな船が幾つも屋根に突き刺さり、車はまるで空き缶を潰したように壊れて重なりあっていました。湊町も魚市場も、毎日犬と散歩していた中瀬公園もない！門脇方面を見下ろすと津波で破壊され火事で燃えつき、戦場の跡のような姿をしていました。その中に私達が太鼓の練習をするのに使用していた門脇小学校が真っ黒に焼け焦げて建っていました。

死者行方不明者6,000人あまりの犠牲者がでた石巻。私に出来ることは何だろう？「追悼演奏の供養太鼓」この中心部の日和山の鹿嶋御児神社の前しかない。この太平洋に向かったの演奏だ！と。犠牲者を弔い、そして震災から3ヶ月目にあたり力強く復興する事を願いたい。

石巻日高見太鼓の会員のほとんどの家が全焼か全半壊状態で、メンバーの37歳の人も亡くなった。バージニア州出身で英語の先生だったテイラー先生(24歳)も犠牲になった。川開き祭りに和太鼓を打ちたいと一生懸命に練習に来ていたのに、悔しい。

宮城県太鼓連絡協議会のほかの団体でも沿岸部は犠牲者も多いし、太鼓の流出や水没したり…。亡くなられた方々の鎮魂と復興に向かう為に和太鼓演奏をしようと強く心に誓う。

和太鼓による陸前高田市民との心の交流
愛宕陣太鼓・連響風組(福島) 会長 齋藤 通夫

陸前高田市、全国太鼓フェスティバル実行委員会の及川修一会長からの要請を受け、さる5月29日(日)台風2号が北上して来ている状況の中、朝7時に我々「愛宕陣太鼓連響風組」は岩手県陸前高田市に向かうため福島県を出発した。

我々が住む福島県も、地震・津波そして原子力発電所事故による放射能漏れによる汚染事故等の問題を抱きかかえながら、太鼓を通しての活動、似た



(石巻日高見太鼓の演奏)

6月11日の早朝は雷鳴と大雨が降っていました。「雨天決行！どんな雨でも絶対に演奏する」私の強固な意志。参加してくれた12団体の皆が大雨の中、太鼓にビニール袋を掛け黙々と太鼓を並べてくれました。不思議と演奏開始の12時には雨は上がって暑いくらいに日が差してくれました。ドーンと太鼓の音が海に向かって響き渡る。

会場に来ていた人々が皆、涙・涙・「頑張れよ〜！」とお互いに励まし合った。女川潮騒太鼓の水没した太鼓は浅野太鼓さんに修理して頂き、11日の当日に届けて頂いたとの事(すばらしい！)

女川の避難所で会った時とは別人のように「いい顔」して打っていましたね。

久々に皆が笑顔になっていました。後日、私に沢山の電話があり「良かった」「元気になった」「これから頑張ってください」と感動の言葉を頂きました。

感謝！感謝！みんなに感謝！南部副会長が「雷がきて雨が降って太陽が顔出したと言う事は今日みんなの思いは天に通じたんだよ」だから「石巻は今日で浄化されたんだよ」と嬉しい事をいってくれました。

(財)日本太鼓連盟に感謝。宮太連に感謝。良き仲間が大いに感謝いたします。

本当にありがとうございました。

*この事業は、財団の助成事業として行われ、当財団からは、中西常務が出席しました。

ような状況に遭遇して、疲れつつある人々に少しでも元気と勇気と活力を見出せれば、との思いで、ただひたすらに車のハンドルを握り陸前高田に向かった。

4時間程で陸前高田市の気仙川に架かっている、廻館はしに差し掛かると凄まじい光景が目に入り込んできた。辺り一面が津波に押し寄せられた瓦礫の山・山である。メンバー全員が、口をそろえたかのように「凄まじい、地獄、悪夢の様だ…」と…。その光景を前後左右に15分間ぐらい車を走らせると会場に到着した。

到着と同時に、実行委員会の河野和義顧問そして

及川修一会長が、「遠い所、陸前高田に来ていただき、有難う。」と顔一杯に涙を流しながら、迎え入れてくれた。津波による被害の説明を聞いていると、死者1,512名、行方不明者626名、避難者1,400名との話であった。

衝撃的な内容だった1つに、全国太鼓フェスティバルの会場である体育館に凄まじい大津波が襲いかかり、一気に266名の方々の命を奪うという話と、同時に体育館も見も無残な姿になっていたのには、言葉には言い表せない情景でした。太鼓演奏による心の交流に、来場者の方々に演奏前にコメントを、との話が進行係よりあり、私は会場の皆さんの顔を見ると…家族を津波で亡くし、住む家を無くされ、疲れ果てた顔つき、そしてこれ程頑張っているのに、どうすればいいのかと、言わんばかりの顔・顔・顔…。

あっ、この顔つきは福島で津波・放射能汚染等で避難して、苦しんでいる方々と同じ顔だ…と思った。

皆さんの前で私は一言、ただひたすらに5曲、「吾妻の響」、「連響変転替り打ち」、「流れ打ち」、「勇み駒」、「疾風」を打ち込む、それを見て聞いていただき、皆さんに何かを感じていただければ、と話しかけ20分ぐらい太鼓を打ち続けていると、真剣な顔、そして涙を流した顔、色々な顔が…メンバー達も太鼓を打

ちながら、肌を感じ取り始めてきた頃、大きな声援と拍手。

5曲後に私はマイクを手に会場の皆さんに「辛いでしょう、苦しいでしょう、切ないでしょう、皆さん我慢しないで、泣きたいときには思いっきり泣いて下さい、涙が枯れるまで。そしたら一步一步、立ち止まらずにゆっくりでも良いですから皆で手と手を支え合いながら、前に前に歩き続けましょう、最後の曲は力強く力走する岡蒸気機関車D51が走る姿を太鼓で表現した曲「D51(でこいち)」を演奏します。皆さんが砂利となり、枕木となりレールとなり、手と手を取り合い、我々福島県民の置かれている状況と、陸前高田市民の置かれている状況の中で互いに前に前にと力強く走り続け、必ずゴールが見えて来るまで力を出し続けよう」と語りかけ、気持ちを込めて太鼓を力強く打込み続けていると、「俺もD51太鼓の様に頑張るべ…私も頑張るべ…皆頑張るべ…」と見て聞いている人の中から、声が大きく聞こえて来たとき…太鼓を演奏している我々も、涙が出てきました。打込みが終わるまで抑えることができなかつた。

同じ被害を受けた者同士、多くを語らずとも太鼓の響きで心と心が通い合えること。素晴らしい体験と活動が出来たことに、ただ感謝・感謝です。

東日本大震災復興支援事業 成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月16・17日(土日)、千葉県成田市において例年20万人もの人が訪れる「成田太鼓祭」が開催されました。今年も千葉県支部、千葉県太鼓連盟主催、当財団の共催により「全国太鼓情報発信基地」のブースを設置し太鼓を紹介しました。

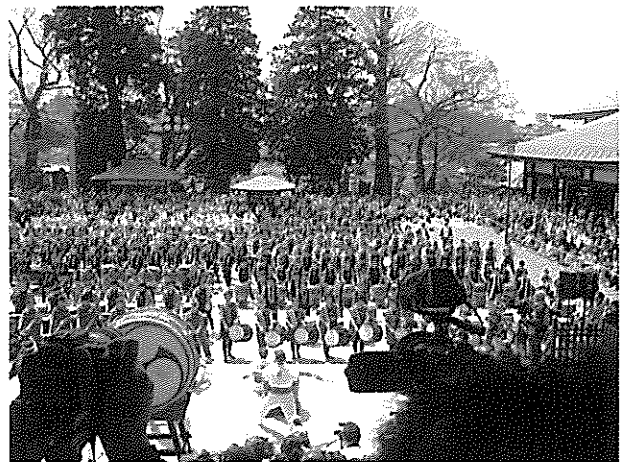
暖かい春の日差しに包まれながらの太鼓見物はすっかりこの地に定着したようですが、今年は東日本大震災の影響を受け、開催までが大変でした。千葉県支部の越川事務局長に寄稿していただき開催までのご苦勞を振り返っていただきました。

(財)日本太鼓連盟千葉県支部事務局長 越川昭一

今年の太鼓祭は、祭ができることの喜びを痛感した大会となりました。

東日本大震災が起きた3月11日は、祭開催まで約1ヶ月で、例年ですと最終の詳細を詰めている時期でした。しかし、祭より先に、自分の生活環境の改善に追われてしまいました。

私の住む銚子市においても、津波の影響でマリナーは壊滅、地震による液状化や地盤沈下に伴い、水道管が破損し断水地域もあり、災害の現状把握とライフラインの復旧に追われる日々が続いていました。



(「千願華太鼓」の様子)

そんな中、祭の話が出たのは、震災から10日が過ぎたころの主催者からの連絡によるものでした。

「社会全体が暗く沈む、このような時だからこそ祭を開催し元気付けたい。現状で参加可能な県内団体の確認を願う。」というものでした。日々復旧作業が続き自分の気持ちの上でも余裕の無い状態であり、県内の団体も同様と思われる時に、連絡を取っていいのかさえ迷っていました。そんな時、より大きな

被害を受けた東北地方の団体のメールを拝見しました。「津波により全てのものが流された。しかし必ず立ち直りまた太鼓を打つ。だから今、太鼓が出来るならやめないで欲しい。」との言葉に勇気付けられました。

確認の結果は、8割の団体は、出演可能。「被害を受けたり、節電対応により練習会場が使えず練習ができないが、祭の日を目指して、日々の生活復旧に励んでいる。可能な限り出演したい。」との声が大半でした。そして、その言葉をそのまま主催者へ伝えました。

3月末、社会全体が自粛傾向で祭に対しての批判と、開催を願う声の混在する中、主催者は、震災支援を目的として太鼓祭を開催することを決定しました。そして、安全面に配慮しつつ、祭の規模の検討を進めていき、開催一週間前の打合せで内容が決定しました。余震があった場合は演奏を中止する。パレードは中止。本堂前の演奏は可能だが、県内団体も危険な箇所の警備に当たる。など、県内団体も協力し、安全面に最大の注意を払い開催することとしました。こうして、4月16日祭の本番を迎えることができました。

本堂の前には500鼓の太鼓が並び、その周辺を1000人以上のお客様が見守るいつもの風景が広がりました。打ち手の方々には、開催できたことの喜びと、今後の復興を願い、笑顔で打とうと、気持ちを一つにするように呼びかけました。ドーン、コーンとゆっくりと一つ一つ打つ表情に、今日の日を迎えられた喜びが伝わってきました。

500人の「心音」が重なり、本堂を包む快い「振動」

となり、見ている方の「心動」と重なり、太鼓の響き一色に空間を染めるひと時が、今年も確かに始まりました。

そして、演奏を終え、1000本の手が空に向かって伸びた時、一瞬の静寂の後、1000人のお客様から惜しめない拍手の響きが返ってきました。「太鼓はいい！」震災の復興に追われ、忘れていた多くの打ち手がこのことを思い出した一瞬でした。そして、お客様も涙をぬぐいながら「よかったあ」と繰り返す方も多く、拍手ができる楽しみを待っていたのだと思いました。

その日の夕方、地元の飲食店の女将さんは「震災後、全くお客さんが来なかったの。今日はたくさんお客さんが来てくれて、楽しそうに食事をしてくれて本当に良かったわ。」と街の賑わいが戻ったことを嬉しそうに語ってくれました。復興のためには、この祭の様に、人が笑顔で、元気になることが大切だと感じました。

今回は、多くの方に応援をいただき祭を開催することができました。いち早く開催を決定した主催者。復興しながらも出演を決めた出演者。石川や大阪、震災の被害の大きい岩手や宮城など遠方からの参加者。そして、毎年変わらぬ拍手を送り続けてくださるお客様。皆さんありがとうございました。当日の皆さんの義援金は、主催者より東北地方に送られ復興に役立てていただきました。

また来年のこの成田太鼓祭が開催できることを楽しみに、太鼓の稽古と、日々の復旧に励みたいと思います。

第8回日本太鼓シニアコンクール出演者募集！

日 時：2011年11月20日(日) 開演14時(予定)

*午前には日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会が行われます。

会 場：輪島市文化会館
(石川県輪島市河井町20部1-1)

主 催：(財)日本太鼓連盟、(社)石川県太鼓連盟、(財)石川県芸術文化協会、北國新聞社

出場資格：(1)審査の対象となる打ち手は大会当日満60歳以上であること。

(団体の場合、全員がこの条件を満たしていなければならない)

(2)リズム奏者と共演する場合は、1名の共演のみ60歳以下でもよい。

(3)リズム奏者が2名以上の場合、全員が60歳以上でなければならない。

演奏時間：3分以上5分未満

費 用：全ての費用は出場者の自己負担(参加料は不要)

表 彰：名人位、準名人、特別賞など
(文部科学大臣賞、石川県知事賞、輪島市長賞等下付予定)

申 込：(財)日本太鼓連盟事務局
〒107-0052港区赤坂1-2-2

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580 メール：info@nippon-taiko.or.jp

申込締切：2011年9月1日(木) 当日消印有効

各地で太鼓講習会を開催！

＜第41回日本太鼓全国講習会(京都)＞

6月25・26日(土日)、京都府支部主管の全国講習会を、城陽市立東城陽中学校にて実施いたしました。地元京都府をはじめ、全国20都府県から130名が受講しました。

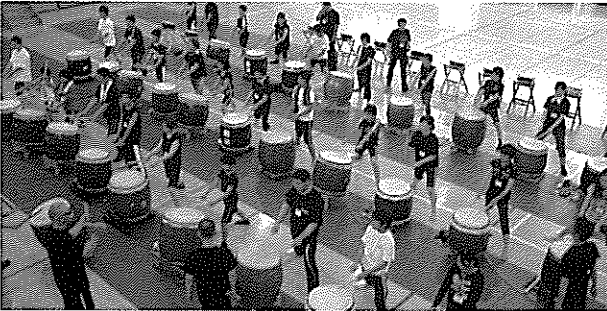
開会式では、財団を代表して中西常務理事、京都府支部より富治林支部長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり、講習会がスタートしました。

2日間とも真夏を思わせる気候で、講師も受講者も大汗をかきながら講習会が進みました。

専門講座の成果発表は、御諏訪太鼓講座、縮太鼓講座、助六太鼓講座の受講生により行われ、各講座とも見事なパチ捌きで検定受検者は全員合格しました。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 1級検定 16名受験 16名合格(7名認定)
- 2級検定 18名受験 18名合格(7名認定)
- 3級検定 10名受験 10名合格
- 4級検定 7名受験 7名合格
- 5級検定 35名受験 35名合格



(全国講習会風景)



(台湾太鼓講習会風景)

＜第5回台湾太鼓講習会＞

7月9・10日(土日)、台湾太鼓協会主催の第5回台湾太鼓講習会を、台北桃園国際空港に近い救國團復興青年活動中心にて実施いたしました。台湾全土から160名が受講しました。

開会式では、王理事長の挨拶に続き、総合指導の古屋技術委員長が講習会の内容を説明、日本からの指導講師を紹介して講習会がスタートしました。

3級基本講座 渡辺徳太郎

4級基本講座 松枝 明美

5級基本講座 古屋 邦夫技術委員長

今回は、自費参加の高島奈々(岐阜)、吉岡賢次(兵庫)、野方嘉孝(佐賀)の3氏に助手としてお手伝いいただきました。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 3級検定 22名受験 22名合格
- 4級検定 30名受験 30名合格
- 5級検定 108名受験 108名合格

今後の講習会予定

第51回日本太鼓支部講習会(北海道道西)

期日：2011年9月24・25日(土日)

主催：(財)日本太鼓連盟北海道道西支部

会場：幌向総合コミュニティセンター ほっとかん
(北海道岩見沢市幌向南1条2丁目)

講座

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

4級基本講座 渡辺 洋一(1級公認指導員)

5級基本講座 橋本 光司(1級公認指導員)

申込先：北海道道西支部事務局 秦野智徳

〒069-0373

岩見沢市幌向南2条3丁目315-18

Tel. 0126-26-2825 Fax. 0126-26-3939

携帯080-1899-5761

第52回日本太鼓支部講習会(石川県内灘町)

期日：2011年10月8・9日(土日)

主催：(財)日本太鼓連盟石川県支部、(社)石川県太鼓連盟

会場：内灘町民ホール

(石川県河北郡内灘町字大学1丁目2番地1)

講座

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

3級基本講座 安江 信寿(1級公認指導員)

4級基本講座 若山 雷門(1級公認指導員)

5級基本講座 渡辺 洋一(1級公認指導員)

申込先：石川県支部事務局 浅野正規

〒924-0051 白山市福留町587-1

Tel. 076-277-1717 Fax. 076-277-2228

携帯090-2123-4546

第42回日本太鼓全国講習会（秋田県大仙市）

期 日：2011年9月3・4日(土日)
主 管：(財)日本太鼓連盟秋田県支部
会 場：仙北ふれあい文化センター（大仙市堀見内元田茂木7-1）
総合指導 古屋 邦夫（技術委員会委員長）
専門講座 八丈太鼓講座(単式複打法) 菊池 修（東京都）
大太鼓講座(単式単打法) 龍 連山（山形県）
蘭導太鼓講座(複式複打法) 鈴木 孝喜（秋田県）
基本講座 3級基本講座 安江 信寿（1級公認指導員）
4級基本講座 渡辺徳太郎（1級公認指導員）
5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一（1級公認指導員）
申 込 先：秋田県太鼓連盟事務局 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字中田茂木72-1（有）鈴木太鼓店内
Tel 0187-69-2010 Fax 0187-69-3369
締 切：8月12日(金)当日到着分まで有効

第13回日本太鼓ジュニアコンクール開催！

日 時：2011年8月13日(土) 開場10時 開演10時30分 終演19時（予定）
会 場：名古屋国際会議場センチュリーホール(愛知県名古屋市)
主 催：(財)日本太鼓連盟
主 管：(財)日本太鼓連盟愛知県支部
後 援：総務省、文化庁、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会ほか
協 賛：日本財団
出 演：全国34都道府県代表45チーム(徳島県代表チームが出場辞退したほかは、当初予定団体出演)
特別出演：橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県・第12回大会優勝チーム)
オザスコ轟太鼓(ブラジル・第7回全ブラジル太鼓選手権大会優勝チーム)
泰山太鼓團(台湾・第1回台湾太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)
審査委員：塩見和子、王妙涓、岡田知之、喜多郎、西角井正大、長谷川義、古屋邦夫、渡辺貞夫
技術委員：浅野義幸、景山道隆、鈴木孝喜、高野右吉、田中俊己、安江信寿、渡辺洋一
*審査委員、技術委員とも敬称略
入 場 券：3月開催時の一般入場券をお持ちの方は、そのまま使用できます。但し、県民入場券は改めてお買い求め下さい。
詳細は、当財団ホームページをご覧ください。

<特報>

第13回日本太鼓ジュニアコンクールの模様が、インターネットにて無料で視聴できます。
当財団ホームページを開き、トップページの画面をクリックするとすぐご覧になれます。
世界のどこからでも視聴可能です。URL：<http://www.nippon-taiko.or.jp>

第14回日本太鼓ジュニアコンクールの予選各地で開催！

各地で、来年の3月に群馬県前橋市で行われる大会に向かって各地で熱演が繰り上げられる時期になりました。第13回大会に続き、健闘を期待しています。(開催日順に記載)

長野	08/21(日)諏訪市文化センター(長野県諏訪市)	大阪	11/06(日)ビッグアイ(大阪府堺市)
兵庫	09/04(日)三木市文化ホール(兵庫県三木市)	東京	11/12(土)大田区民センター(東京都大田区)
福岡	09/18(日)大野城まどかぴあ(福岡県大野城市)	秋田	11/13(日)秋田ふるさと村(秋田県横手市)
岐阜	09/25(日)スイトピアセンター(岐阜県大垣市)	石川	11/20(日)輪島市文化会館(石川県輪島市)
道央	10/02(日)追分公民館(北海道安平町)	群馬	11/20(日)甘楽町文化会館(群馬県甘楽町)
神奈川	10/02(日)かながわアートホール(神奈川県横浜市)	広島	11/20(日)広島市青少年センター(広島県広島市)
熊本	10/08(土)熊本城(熊本県熊本市)	宮城	11/20(日)ふるさと文化会館(宮城県蔵王町)
道東	10/09(日)釧路市民文化会館(北海道釧路市)	道西	11/23(祝)まなみーる(北海道岩見沢市)
埼玉	10/30(日)ときがわ町文化センター(埼玉県比企郡)	千葉	11/27(日)ふれあい会館(千葉県いすみ市)
佐賀	11/03(日)佐賀市民会館(佐賀県佐賀市)	富山	11/27(日)氷見市民会館(富山県氷見市)
京都	11/06(日)宇治市文化ホール(京都府宇治市)		

*以上、開催届が提出されている支部からの情報です。

第15回日本太鼓全国フェスティバル開催！

日 時：2011年10月2日(日)開場12時30分(予定) 開演13時 終演予定15時
会 場：上田市民会館(長野県上田市二の丸1番2号)
主 催：(財)日本太鼓連盟
主 管：(財)日本太鼓連盟長野県支部
後 援：文化庁、長野県、長野県教育委員会、上田市、上田市教育委員会ほか
協 賛：日本財団
入 場 料：前売券2,500円 当日券3,000円(来賓席を除き自由席)
出演団体：龍・連山と和太鼓龍(山形)、秩父屋台囃子若葉会(埼玉)、大江戸助六太鼓(東京)、
御陣乗太鼓保存会(石川)、甲州ろうあ太鼓(山梨)、小倉祇園太鼓 田町チーム(福岡)、
日本太鼓ジュニアコンクール優勝団体(8/13決定)
長野県合同チーム(長野)
詳細は、当財団ホームページをご覧ください。事務局までお問合せ下さい。(TEL.03-6229-5577)

第13回日本太鼓全国障害者大会開催！！

10月16日(日)兵庫県三田市の郷の音ホールにて、第13回日本太鼓全国障害者大会が開催されます。

太鼓愛好者の皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日 時：2011年10月16日(日) 11時30分開場 12時開演 17時終演予定

会 場：郷の音ホール(兵庫県三田市天神1丁目3番1号)

アクセス：○在来線でのご来館の方

JR大阪駅より快速で約40分、宝塚(福知山)線「三田駅」より徒歩約12分

○お車でご来館の方

中国自動車道「神戸三田IC」より約15分

または「西宮北IC」より約20分

主 催：(財)日本太鼓連盟

共 催：社会福祉法人富岳会

主 管：(財)日本太鼓連盟兵庫県支部

後援予定：厚生労働省、文化庁、兵庫県、兵庫県教育委員会、三田市、三田市教育委員会、
社会福祉法人全国社会福祉協議会ほか

協 賛：日本財団

入 場：無料

出演団体は以下の予定です。(順不同)

やまびこ太鼓(福島)、社団法人東京都聴覚障害者連盟文化部大江戸助六流東京ろう者と太鼓倶楽部「鼓友会」(東京)、
新潟ろうあ万代太鼓豊龍会(新潟)、甲州ろうあ太鼓(山梨)、鼓友夢光組(富山)、石川県立明和特別支援学校龍剣太鼓(石川)、
富岳太鼓竜神組(静岡)、伊豆医療福祉センターどんつく(静岡)、遠州袋井太鼓保存会スマイルズ(静岡)、金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム(静岡)、
金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム(静岡)、静岡県立静岡北特別支援学校北龍太鼓(静岡)、静岡ハンディキャップ太鼓の会(静岡)、恵那のまつり太鼓(岐阜)、ファミリーユニット
童鼓(岐阜)、元太鼓(京都)、豊中ろうと太鼓クラブ「鼓響」(大阪)、神戸ろう太鼓集団鼓神(兵庫)、神戸川太鼓(島根)、あ
そかの園同朋太鼓(山口)、四国中央磐座太鼓ろうあ部会鼓龍会(愛媛)、徳島県立国府支援学校和太鼓部(徳島)、大分
県社会福祉事業団 大分県糸口学園糸口太鼓(大分)、社会福祉法人 南陽園 ふれあい和太鼓(石川)、京都府立与謝の
海支援学校寄宿舎(京都)

詳細は、当財団ホームページをご覧ください。事務局までお問合せ下さい。(TEL.03-6229-5577)

各種会議を開催

～理事会・評議員会・運営委員会・技術委員会・代議員会～

第29回理事会並びに第27回評議員会が6月16日(木)に開催され、次の事項が審議、承認されました。

<理事会>

1. 「2010年度事業報告及び決算について」
2. 「任期満了に伴う評議員の選任について」
3. 「(公益法人移行に伴う)最初の評議員選任のための評議員選定委員会委員の選任について」

<評議員会>

1. 「2010年度事業報告及び決算について」
 2. 「(公益法人移行に伴う)最初の評議員選任のための評議員選定委員会委員の選任について」
- *いずれも、原案通りに可決されました。なお、評議員は全員が留任となりました。

東京・船の科学館において第14回代議員会が7月7日(木)に開催されました。また、同日に第45回運営委員会と第40回技術委員会が合同で開催されました。審議、承認された事項は次の通りです。

<運営委員会・技術委員会>

1. 「2010年度事業報告について」
2. 「2011年度事業計画について」
 - ①「日本太鼓ジュニアコンクールについて」
延期された第13回及び来年3月の第14回大会の実施内容について検討しました。
 - ②「日本太鼓全国障害者大会について」
兵庫県三田市における大会の概要を確認しました。
 - ③「日本太鼓シニアコンクールについて」
シニアコンクールの出場者の増加を図るよう各委員に要請いたしました。
3. 「日本太鼓資格認定制度について」
来年度が公認指導員の第5期更新研修会の年にあたるため、次回の委員会において内容を検討することになりました。

その他

- ①「東日本大震災に関する対応について」
東日本大震災に関する被害状況、支援金の現状報告がありました。また、用途についても検討し、諸般の状況を確認した後に決定することとしました。なお、被害の大きい岩手、宮城、福島の3支部より申請のあった被災団体の年度会費免除については、満場一致で承認されました。
- ②「公益法人改革について」
公益法人改革による公益財団法人への移行に伴い、本部と支部を一体として収支予算、決算等を申請しなければ従来の〇〇支部という名称の使用が出来なくなります。支部の経理処理等の現状からして一体での申請は不可能と思われることから支部に代わる名称を検討しました。委

員会では、「連合」を候補として代議員会に諮り、各地域の状況を確認することとしました。

③「その他」

- ・福島県の渡辺徳太郎委員より東北3県を代表して東日本大震災への支援に対するお礼の言葉がありました。

<代議員会>

1. 「2010年度事業報告並び決算報告について」
2. 「2011年度事業計画並び収支予算について」
上記の2項目については、資料を基に説明し、了承されました。
3. 「その他について」
 - ・東日本大震災に関する対応について
東日本大震災に関する被害状況、支援金の現状報告がありました。また、支援金の用途については、姉妹団体である日本音楽財団が所有している世界的なヴァイオリンを約12億円で売却、その全額が日本財団に寄付されました。日本財団は「伝統芸能復興基金」として主に被災地の祭りを中心とした伝統芸能の復興を支援する予定です。その支援内容には太鼓も含まれるため、当財団へ寄せられた支援金は、それらの状況を確認した後に用途を決定することとなりました。なお、原則としては太鼓等の購入や修理等に使用する予定です。
 - ・公益法人改革について
公益法人改革による公益財団法人への移行に伴い、本部と支部を一体として収支予算、決算等を申請しなければ従来の〇〇支部という名称の使用が出来なくなります。支部の経理処理等の現状からして一体での申請は不可能と思われることから支部に代わる名称を検討しましたが、一本化には至らなかったため、継続審議となりました。なお、財団の名称もこれまでの「財団法人日本太鼓連盟」から「公益財団法人日本太鼓財団」とするよう全会一致で決まりました。この要望を財団の理事会、評議員会に提案することとなります。
 - ・財団事業の実施について
事務局より、財団事業に関する予定を説明し、支部としての義務である、各種資料の提出、会費の納入などについて、規定に基づいて行うよう要請いたしました。
 - ・その他
岩手県の及川支部長より東北3県を代表して東日本大震災への支援に対するお礼の言葉がありました。